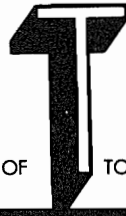


ASSOCIATION OF



TOKYO

'78 No. 2

1978. 7. 10発行  
 財団法人東京都スキー連盟  
 〒102 千代田区麹町4-5  
 第6 麹町ビル220号  
 TEL (262)2491・(261)5616  
 編集 S A T 編集委員会  
 印刷 エース工業

**総務部**

「SAT」と称して、此の「たより」が発刊されてから満一年、加盟クラブ各位に、本当にたより(頼り)になったのかなあという心配と期待が残る。

総務は執行部の、要であるという自負心を持って事に当たってきた心情だが(結果を各クラブの方々が、どう評価されて下さるか、9月の評議員会での御批評を早くお聞きし度い。私共は、ガラス張りの運営を、か、けて、皆さんに御協力と御理解を求めた。特に、加盟クラブ

が年毎に増え続ける中で、比例して増加する種々の事項を、現状の事務局スタッフのま、で、如何に効率的に、事務処理能力を高めるかに重点を置いた。

事務連絡担当者会議は、その為の最たるものである。大方の御了解を得て、かなりの御出席を頂いた。書式、手続、日程等の電話の応待だけで、事務局員の使用する時間はボウ大である。来期は全ての各クラブ事務担当者の御出席を望み度い。

又、次年度予算の編成に当っては、現在の世情をも考慮し、「値上げ」という安易な方式を避ける事を前提として、限られた収入を如何に有効に配分するかに意を用いた。

各位の御支持と暖かいまなごしを切に御願ひし度い。

(与 安)

**安全対策部**

安全対策部として、又かといわれるような事を、書かせていただきます。傷害報告書の提出をお願いしてから6年目になりますが、来年度は書式を一部変更して、大山のバトロール隊の調査書式を参照し、使用用具等も書き込んでいただくようになると思います。

スキー傷害そのものは、スキー場の安全対策、スキーヤー自身の注意、各クラブの教育のためものか、ある程度の減少は感じられますが、まだまだ発生率としてはそう全国平均を下廻るものにはなっていないようです。受傷する一番大きい原因は、自分自身での転倒によるもので、これは何年最少しも変わりません。スキーでの転倒は止むを得ない

ものならば、転んでも、怪我をしない方法を、皆で研究していただきたいと思います。そこで、使用用具の問題も出て来ます。転倒方法の研究もありますが、今年からは、とりあえず、受傷時のスキーの長さとか、使用締具の強度とかを調査したいと思っております。

よろしく御協力下さい。

(中 田)

**普及部**

普及部はご承知のように、SATにおけるよき指導者の養成と、スキー技術の研究とその普及の2つを大きな目的としております。78シーズンも昨年と同じく、前半は雪のないみじめなシーズンあけとなりました。おかげで各クラブで活躍されている指導員のための指導員研修会が、サヤマで行なわなければならないようになったわけですが(考えようによっては東京ならではのということです)その後順調に雪が降り、すべての行事はつ、がなく消化いたしました。

指導者養成講習会も来年からは準指検定会とセットされますが、今年も熱心に受講され技術の向上もめざましく、検定の結果は、申込者839名のうち、300名の準指が誕生しSATの心強い戦力となりました。

さらに、SAJデモンストレーター選考会ではSATの選手は善戦し、堂々2名の入賞をはたしました。来シーズン以降、このデモンストレーターに続く人ができ、SATスキー技術の強力な機関車になって都連の発展興隆に役立って行くことでしょう。

さて、各クラブの充実発展は、やはりクラブのリーダーの指導員の指導力に負う所が多いと考えられます。普及部では、指導者養成、準指の検定、指導員の研修と力を入れているのも、この趣旨によるわけです。指導員は、技術の指導者だけにとどまらず、クラブ運営の中心になって、あらゆる意味でも魅力あるよき指導者になって頂きたい。今後ともこの方針で進みたいと考えております。

(井 上)

燃える「USスキーチーム」。  
 レークプラシッドまで、あと2年だ!



《本格派》  
**デサント**  
 スキーウェア

速いものは必ず美しい  
 スポーツは生きる喜び/ 株式会社デサント

強化部

昭和53年度を省みて、特筆すべき点はポイント戦を定めてポイント計算した事です。このレースポイントを昭和54年度各大会のドローに用い、又予選会の出場者を決定する資料にする事としました。全日本スキー連盟が採用したポイント方式を各都道府県連盟で採用している例は非常に少ない模様ですが、都連では一昨年からポイント委員会を専門委員会の中に置き、昭和52年度の主要大会成績でポイントを試算してポイント表を作成し、協議した結果、昭和53年度行事から回転四競技、大回転五競技をポイント戦とした訳です。たゞ都連の場合、回転競技の参加者をなるべく沢山出す為に二本目を大巾にしぼる関係で、一本目の成績でポイント計算をするという東京方式を採用せざるを得ない実情です。

昭和54年度は、回転競技のポイント戦五競技、大回転競技六競技を予定しています。(水木)

ジュニア部

雪やけ顔もやっとな人間なみになり、久々にさつきの鉢をながめながら、今年の主な行事をまとめ、報告することとします。

1. 体力測定 ジュニア登録者の体力を知るために、日体

大に於て体力測定を実施した。

2. 陸上トレーニング 雪のシーズンに備え、体力のたりのない東京の子供達を考えて、陸トレを計画、千駄谷の400mトラックを使い、実施した。

3. 狭山トレーニング シーズンを迎えるにあたって、滑走感覚の養成と、基本技術の習得を目的で、延7回実施した。

4. 冬期合宿 石打はつか石に於て実施。

5. 第3回南関ジュニア大会兼全中都予選 新潟、燕において400名におよぶ多数選手の参加のもと、日程を変更して1/7~8に実施。

6. 第1回カザマ杯都ジュニア選手権 石打はつか石において220名におよぶ多数参加のもと、3/30~31に実施。

以上が主な行事であります。実施にあたり、地元をはじめ各関係者のご協力を感謝します。今後は電気計時音に初参加の2部の幼ない選手の笑顔と夢を胸にして、余裕ある大会日程の計画をはじめ、ジュニアチームの登録、合宿のあり方、およびオフトレ等の行事オープン化等を検討して、国体少年大回転入賞という輝かしい成績をさらに拡大するよう、育成強化につとめたいと思っておりますので、各位のご協力を切にお願いします。(鈴木邦)

'78シーズン・行事総決算

	回数	延日数	役員数	専門委員数	参加者数	延参加者数
総務部	4	20	57	23	1454	2270
安対部	8	16	24	103	929	1540
普及部	19	42	180	780	5605	8945
強化部	9	24	99	223	2245	2539
ジュニア部	8	30	58	83	781	1432

在京行事計	16	26	82	297		4688
雪上行事計	32	106	336	915		12038

総計	48	132	418	1212	11014	16726
----	----	-----	-----	------	-------	-------

在京行事1日平均参加者	180.3人
雪上行事	113.6人

行事1回当り参加者	229.5人
SAT会員1人当り参加日数	1.1日

'78シーズンも終了し、都連役員も今ホットしています。しかしふりかえって見ると、なんとたくさんの方の行事を、この都連は実施していることでしょうか。在京行事は16あります。この殆んどが10月11日に実施します。延べ26日です。土曜、日曜をフルに使っても2ヶ月で16日しかありません。


また、雪上行事は、これまた106日の多きを数えます。これも12月下旬から3月まで3ヶ月半。ちょっとみなさんも計算してみてください。土曜休暇と日曜を利用して、そして、有給休暇を若干とって、106日参加できましようか。

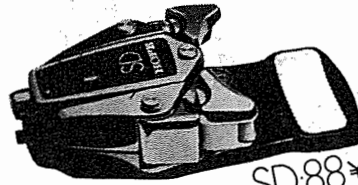
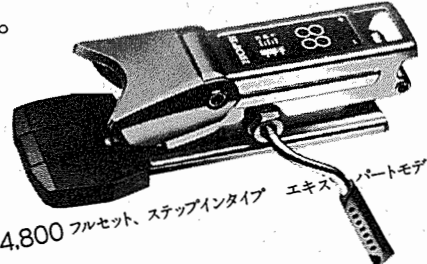
これらの行事には役員、専門委員が、フルに運営に参加しています。それこそスキー普及のためにけなしの休暇を利用して…。しかし、そのことを言いたいわけではありません。

SAT会員はこれらの行事にすべて参加できる権利もっています。1人当り、1.1日ではちょっともったいないような気がします。来シーズンは、もうちょっと休みを工夫して、1人当り2日位の参加率にしたいものですね。SAT会員のメリットを充分利用してスキーをエンジョイしたいものです。

エキサイティングな話題! ストッパー完全内蔵型

いまスキー界の大きな話題は“Dシリーズ”なかでもストッパーがヒール部本体に完全内蔵されたSD-88は画期的なものです。スキー靴をセットするとストッパーは上にあがり、解放されると自動的に下に降り、スキーを停止させます。



SD-88 ¥14,800

フルセット、ステップインタイプ エキスパートモデル

## クラブの現状

### 東村山市スキー連盟の現状 (佐藤剛記)

昭和40年に結成して以来、わが連盟恒例の事業活動は、安全スキーをモットーに、10月末オープンする狭山スキー場での初滑りに始まり、翌年3月末に開催のスキー教室まで続く。11月から2月末まで、毎月狭山スキー場を主会場にして指導者ゼミ、同実技研修、スキー教室を実施し、SATの行事にも積極的に参加をしている。1月には、都下スキー連盟協議会主催の講習会と、昭和37年以来続けている、市主催の市民スキー教室(2月も実施)に指導層を多数派遣して、その資質向上に努めている。

こうした練磨研鑽の積み上げによって、都予選資格者3名、指導員1名、準指導員4名が生れた。昨年は都下選手権大会に優勝、本年は同大会主管の大任を果たしたことも、着実に充実してきた一面を物語っていると云えよう。

スポーツ都市を宣言している本市は、生活をエンジョイするスキー人口の多い割には連盟の加入者は少い。早急に実現を期している事業活動として、特に目下苦慮していることは、スキー学校の主催と市民スキー大会の開催などである。指導層の薄さがネックで、今だに都下の片隅に生きる未熟児的、ミニ連盟のクラブであるが、各方面からの手厚いアドバイスを懇願する次第である。

### — 会員の声 —

78シーズンも終り、79シーズンに向けて活動を開始した、我が風雪スキークラブでは6月に総会を開き、今シーズンの活動予定などを決定しました。風雪スキークラブは創設13年目になりますが、現在42名のクラブ員で、準指7名を先頭に基礎スキーにはげんでおります。

又、今シーズンはポールを購入し、競技スキーも勉強する予定です。

クラブ員は全国から集まっており遠くは四国、名古屋方面にも及んでおります。本部は東京大田区蒲田のマキスポーツ店に置き、毎年一般募集のスキーバスはマキスポーツの協力をえて盛大に行なわれております。今後も各自技術のレベルアップを目標に、そしていつまでも、クラブの灯を消さぬよう、スキーを愛し活動を続けるよう、クラブ員全員で、頑張っていくつもりでおります。SAT加盟のスキークラブの皆様、わが風雪スキークラブをよろしくお願い致します。

風雪スキークラブ会長 佐藤晴樹

### 明大・シャス・ネージュ

私たちは、競技スキー中心のクラブで、目標は、岩岳学生スキー大会で優勝することに置いて、年間通じてトレーニングにはげんでいます。ですから体育会のように母校の名誉を荷なってスキーをする、という感覚はあまりないのですが、大学の同好会のわりには、トレーニングも厳しく、1人1人が明大シャスネージュの一員として自覚を持っています。

でもそこは学生。わきあいあいとした雰囲気の方が多くいます。現在、クラブ員は70余名と大世帯。したがって運営も3年生が中心になって委員会を組織し、仕事の分割、能率を計っています。

活動は、春の新生歓迎合宿、夏の立山強化合宿、陸トレ合宿、冬は12月・2月・3月合宿と岩岳大会を行い、その他に、本校・和泉・生田校舎と三つに分かれて活動しているので親睦を計るために球技大会や、資金補助のためにコンサートを行っています。そして、機関紙「六花」を発行し各支部の連絡をとりあっています。

ところで現在私たちの悩みは、活動資金が莫大な額になってしまふ事です。学生ですので、アルバイトをしても、この物価高、スキーに廻る予算はスズメの涙ほです。

今、深刻に資金繰りをどうするか、悩んでいます。

### 『事務局だより』

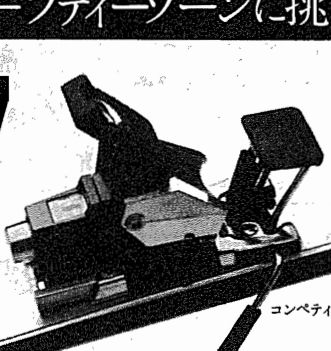
このSAT第2号が6月末日発行されるので、昭和54年度(7月1日から)の加盟団体に関係ある行事予定について、10月迄をあらかじめお知らせいたしますので、ご参考にして下さい。


- 7月20日(休) 役員(理事、監事)立候補届メ切、都連事務局18時必着
- 8月5日(土) 54年度定期評議員会(代表委員会)招集状発送
- 19日(土) 評議員会資料発送
- 26日(土) 都連年鑑(新刊)原稿メ切(収録されるもの、「54行事カレンダー」「53競技記録」「54行事日程表・事務手続早見表」等)
- 31日(休) 加盟団体提出議案メ切。
- 9月9日(土) 評議員・代表委員の出欠表および委任状確認。
- 10日(日) 54年度定期評議員会開催、会場 赤塚公会堂の予定。  
役員改選(理事・監事)
- 12日(火) 救急法講習会申込受付開始(メ切9月27日)
- 16日(土) 指導者養成講習会 } 申込受付開始  
準指導員検定会 } (メ切10月7日)
- 10月1日(日) 54年度事務連絡担当者会議(会場・青山学院の予定)
- 8日(日) 救急法講習会開催(会場・青山学院の予定)
- 11日(休) ① 加盟団体負担金 ② 会員登録料(SAT、SAJ)  
③ 公認資格者年次登録料=納入受付開始
- 14日(土) 安全対策担当者打合せ会(会場・体協)
- 15日(日) 指導者養成講習会(理論)
- 22日(日) 指導者養成講習会(理論)(会場・未定)

未踏のセーフティゾーンに挑む727-新登場!

**SALOMON**

**727**





**EQUIPE** フランス製  
727 エキップ ● ¥36,000 (専用ストッパー付き)  
コンペティション・レーシングタイプ/競技者・インストラクター向き

**STANDARD** フランス製  
727 スタンダード ● ¥32,000 (専用ストッパー付き)  
コンペティション・スタンダードタイプ/インストラクター・一般上・中級向き

**SALOMON**

人間中心スポーツマン

**三井物産スポーツ**

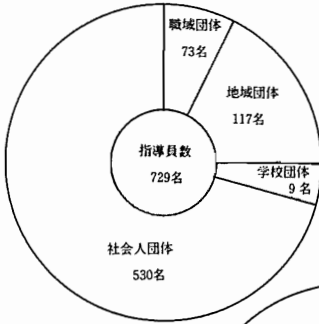
本社: 東京都千代田区神田神保町3-4 4階名産ビル101  
〒103 (253) 8731 (株) 三井物産スポーツ 大阪市北区天満2-1-11  
〒530 2066 (353) 8071 (株)

## 指導員のクラブ別報告 (昭和53年1月1日現在)

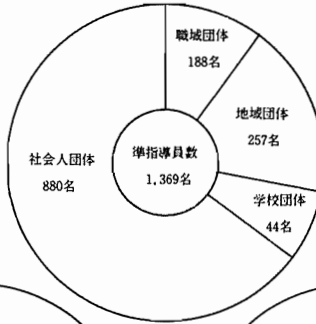
グラフが示す様に指導員の分布状況は、1. 社会人団体 2. 地域団体 3. 職域団体 4. 学校団体の順になっています。指導員、準指導員の在籍クラブは242団体あり、在籍なしのクラブは約100団体あります。指導員数を在籍クラブ数で割りますと(5)のグラフの様になり、クラブ当りの人数は、1. 地域団体 2. 社会人団体 3. 職域団体

4. 学校団体となり、(1)~(4)の数とは違った結果が出ています。地域団体が指導者育成に力を入れているのではないのでしょうか。尚、学校団体の大部分は競技指向が強く結果として指導員が少ない。都連加盟団体のクラブ員数の平均は45名となります。

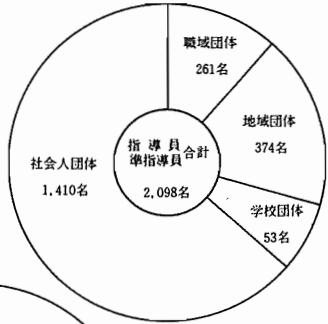
(1) 指導員数



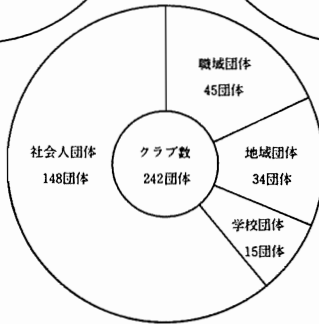
(2) 準指導員数



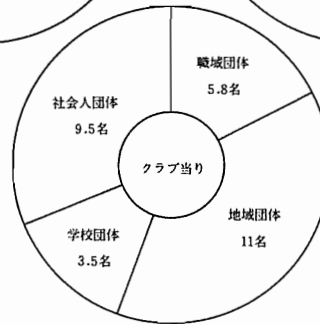
(3) 指、準合計数



(4) 指導員準指導員在籍クラブ数



(5) 指導員準指導員在籍クラブの平均数



### 編集後記

第1号発刊以来、多くの会員から、ご批判やら激励を頂き、その反響の大きさに、編集委員全員びっくりというのが、実情です。それだけ期待されている「SAT」と思えば、編集委員は真剣に、暇を見つけて作業に掛らざるを得ません。まだまだ、意図するところに、遠い内容ですが、こゝに第2号を、お送りします。

S：2号ともなれば、ずい分と馴れるはずであるが、しかし、それにしても暑い毎日である。

O：53年シーズンは、SAT小冊子完了と共に終わった。来シーズンは、インタースキーが日本で行われる。大会を

「SAT」編集委員会 委員長 鈴木茂夫、委員 箭内武 岡田興一 大槻譲 高倉靖夫 木村靖夫

立派に成功させたい。

Y：宮城沖地震。梅雨入りしたとたん、連日30度を越すカラカラ天気。地球はどうなってんのかな？。でもSATは予定通りの発行。ヤル気があれば…なんちゃって。

T：ヤツゼ編集!! 鈴木(茂)編集委員長長の指揮にもとづいて編集終了(53年6月20日、21時)。次回発刊には全力を尽したいと思います。……………

J：産れて6ヶ月もたつと、子供はそろそろ、つたい歩きを初める。このまゝ健全に育て、都連全会員の、相互理解に役立つよう祈ること切。

# スポーツの原点は基本に

今もう一度原点に戻って自分の滑りを見直してみよう。

スキージャーナルからこの2冊

**日本スキー教程**

(財)全日本スキー連盟編 ¥1,400

**初級スキー教本**

(財)全日本スキー連盟編 ¥980

(株)スキージャーナル ☎(263)3421

